

会津地域での「ひだ国府紅しだれ」を台木にした「あかつき」の樹体生育、収量及び果実品質

福島県農業総合センター 果樹研究所栽培科

1 部門名

果樹－モモ－栽培

2 担当者名

三田村諭、安達義輝、遠藤敦史、南春菜、渡邊善仁、佐久間宣昭

3 要旨

凍害等による主幹障害は、モモの安定生産の阻害要因となっている。主幹障害対策として、「ひだ国府紅しだれ」は従来の台木である「おはつもも」等と比較して主幹障害が抑えられるだけでなく、樹冠拡大はやや遅れるものの果実生産性はおおむね同等である。

- (1) 会津地域の異なるほ場において、「ひだ国府紅しだれ」と一般的な台木である「おはつもも」及び「払子」を台木とした「あかつき」の樹体生育、果実品質を比較した。
- (2) 「ひだ国府紅しだれ」は「おはつもも」及び「払子」と収量及び果実品質が同等であった(表1)。
- (3) 「ひだ国府紅しだれ」は「おはつもも」及び「払子」よりも樹冠拡大が遅れる(図1)。

表1 台木別の「あかつき」の果実生産性(7年生)

台木	収量 ² (kg/樹)	幹周当たり着果数 (果/cm)	果実重 (g)	糖度 (°Brix)	果汁 (pH)
ほ場a 紅しだれ	32.8	2.7	299.8	13.1	4.49
おはつ	38.3	3.0	275.4	12.8	4.46
有意性	ns	ns	*	-	-
ほ場b 紅しだれ	50.2	5.0	229.0	11.4	4.37
払子	53.2	4.2	254.0	11.7	4.39
有意性	ns	ns	ns	-	-

²: 収量は修正摘果終了後の着果数と抽出調査の果実重からの推定値。

³: *は検定において危険率5%水準で有意差があり、nsは有意差がないことを示す。

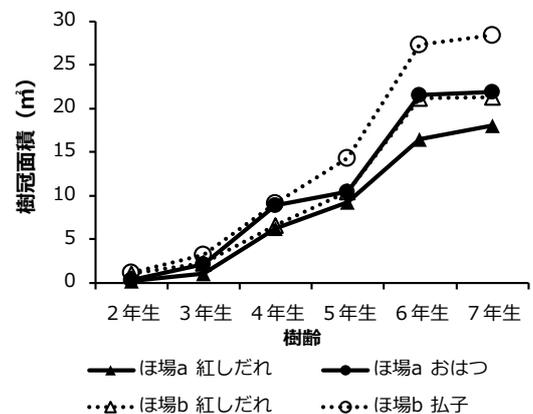


図1 台木別の「あかつき」の樹体生育

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成27年度～令和2年度
- (2) 研究課題名 果樹の安定生産を支援する生育予測技術及び生育障害対策技術の確立

5 主な参考文献・資料

- (1) 安達ら, 「ひだ国府紅しだれ」は会津地域においてモモを安定生産できる台木である, 令和元年度参考となる成果.